



誘惑する女

2022.10.1(土) - 2023.3.26(日)

秦野市立 宮永岳彦記念美術館

| 開館時間 | 10:00~19:00
(入館時間は18:30まで)

| 休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌日)
12月28日~1月2日

| 主催 | 秦野市

| 観覧料 | 一般 300円

(隣接する「弘法の里湯」をご利用の方は200円)

高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

| 協力 | ペンてる株式会社 小田急電鉄株式会社

誘惑する女

2022.10.1(土) → 2023.3.26(日)



《リズム》油彩画 30P 1962年



《招待》油彩画 20F 1961年



《鳳》油彩画 30F 1976年

宮永岳彦は女性の目を持った画家でした。宮永の描く女性は洗練され、自信に満ち溢れています。宮永は女性が自身の精神と肉体を理解し、肯定した時に初めて己を解き放ち、誇りやくつろぎを感じることができると知っていました。そしてそれを男性の目を通し、生涯をかけて理想の女性像として描き続けました。

宮永岳彦は戦後の商業デザインで、人々の夢や欲望、時代を象徴する女性を、ポスターや表紙画に多く描きました。また一方で、自分の内なる声に響く夢の女性を、純粋芸術という形で情熱を持って表現しました。

若いころから培われた素描力によって、作品の中の女性は生き生きとした表情やしぐさを見せ、私たちに語りかけます。口元に笑みを浮かべ、見るものを誘うようなまなざしを向けて。

本展示ではあなたを誘惑する魅力的な女性の作品を集めました。彼女たちと視線を絡ませることで生まれるコミュニケーションをお楽しみください。



『別冊小説現代 1967年初夏特別号』
表紙原画 1967年



『週刊漫画 TIMES』
表紙原画 制作年不明



《騾》油彩画 20F 1969年



全日空『ジェットスのハネムーン』
ポスター 1967年



『日本橋』表紙原画 制作年不明

宮永岳彦 (1919-1987)

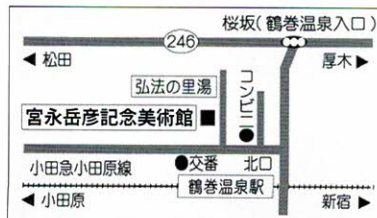
「光と影の華麗なる世界」と称される美人画で知られる宮永岳彦は、父親の転勤のため静岡県磐田郡(現在の磐田市)で生まれ、名古屋市立工芸学校に学びました。2度の兵役後、実家のある秦野に帰り、松坂屋百貨店銀座店宣伝部に勤務しながら、昭和21年から15年間、秦野市名古木のアトリエで創作活動を続けました。二紀会の設立に参加、昭和54年には日本芸術院賞を受賞、昭和61年には二紀会理事長に就任。油彩画をはじめ、ポスター、童画、表紙画、挿絵、水墨画など多彩な作品を残しました。

表：油彩画《煌》80F 1978年

秦野市立 宮永岳彦記念美術館

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北3-1-2
TEL/FAX 0463-78-9100

《隣接》公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL 0463-69-2641



美術館へのアクセス

- ◆ 小田急線 鶴巻温泉駅から徒歩2分
- ◆ 駐車場 弘法の里湯と共用
40台/1時間150円
以降30分ごとに100円